

# 令和8年度 地理総合 シラバス

科目	地理総合	単位数	2 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 2年次

**目標** 地理的な見方・考え方を働かせ、多様な異文化への理解や、様々な地球的課題に立ち向かうために必要な知識・技能を身につける。

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、地球環境、資源・エネルギー、人口、食糧など現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、異文化理解や日本の豊かな自然を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に現代の地球的諸課題を主体的に解決しようとしている。
<b>評価方法</b>	定期考査、北高検定、小テストなどで総合的に評価する。	定期考査、授業プリント、レポート課題、授業中の発言等で総合的に評価する。	授業プリントやレポート課題、自己評価等で、総合的に判断する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	第1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界  第2部 国際理解と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業プリントを使用</li> <li>・ タブレットでの調べ学習</li> <li>・ 小テスト等</li> </ul>	『高校生の地理総合』(帝国書院) 『新詳高等地図』(帝国書院) ・ プリント ・ Googleのアプリ ・ Microsoftのアプリ等
<b>後期</b>	第3部 持続可能な地域づくりと私たち		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・ 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題などについて新聞やニュース、インターネットを使って身近なものにしておくこと。また、地理総合の授業内容と関連づけて考えることができること。
- ・ 主体的に授業に参加し、疑問に思ったことをタブレット端末などを使い、調べようとする態度を持つこと。
- ・ 授業で提示した教科書のグラフやコラム、ノートやプリント、タブレット端末を見返すなど復習を習慣づけること。

# 令和8年度 歴史総合 シラバス

科目	歴史総合	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3部	3年次
目標	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して近現代の歴史の変化に関わる諸事情についてまとめる技能、説明する力、文化を尊重する自覚などを向上させる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解するとともに諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付ける。	事象の意義や特色などを現在との関連に着目して、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想し、効果的に説明したりする力を養う。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求し、歴史や他国の文化を尊重する自覚を深める。
評価方法	定期考査、北高検定・授業レポート課題、小テスト等で総合的に評価する。	定期考査、授業プリント、レポート課題、授業中の発言等で総合的に評価する。	授業プリントやレポート課題、自己評価等で、総合的に判断する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち	・授業プリントを使用 ・タブレットでの調べ学習 ・小テスト等	・『明解 歴史総合』(帝国書院) ・プリント ・Googleのアプリ ・Microsoftのアプリ等
後期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4部 グローバル化と私たち		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に授業に参加し、疑問に思ったことをタブレット端末などを使い、調べようとする態度を持つこと。</li> <li>・提出物にしっかりと取り組むこと。</li> </ul>
--

# 令和8年度 公共 シラバス

科目	公共	単位数	2 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 1年次

**目標** 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題について理解を深め、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者として必要な教養を身につける。

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに諸資料から、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	定期考査・北高検定・小テスト等	定期考査、課題や授業プリント、授業中の取組等	授業中の取組等

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1章 社会の中の私たち 第2章 思想から学ぶべきもの 第3章 私たちの社会の基本原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業プリントを使用</li> <li>・ タブレットでの調べ学習</li> <li>・ 小テスト等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『公共』（帝国書院）</li> <li>・ プリント</li> <li>・ Googleのアプリ</li> <li>・ Microsoftのアプリ等</li> </ul>
後期	第1章 私たちと法 第2章 私たちと政治 第3章 私たちと経済		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・ 世の中で起こる出来事について、新聞やニュース、インターネットを使って身近なものにしておくこと。また、公共の授業内容と関連づけて考えることができること。
- ・ 主体的に授業に参加し、疑問に思ったことをタブレット端末などを使い、調べようとする態度を持つこと。
- ・ 授業で提示した教科書のグラフやコラム、ノートやプリント、タブレット端末を見返すなど復習を習慣づけること。
- ・ 提出物にしっかりと取り組むこと。

# 令和8年度 倫理 シラバス

<b>科目</b>	倫理	<b>単位数</b>	2 単位
		<b>対象 部・年次</b>	1・2・3部 公共履修者
<b>目標</b>	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成する。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、調べまとめる技能を身に付ける。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、倫理的諸課題を解決するために概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明や対話する力を養う。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに在り方生き方についての自覚を深める。
<b>評価方法</b>	定期考査・単元テスト等	定期考査、課題や授業プリント、授業中の取組等	授業中の取組等

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 人間の心と自己形成 第2章 人間の存在や価値と宗教 第3章 人間のあり方と社会 第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	・授業プリントを使用 ・タブレットでの調べ学習 ・小テスト等	・『高等学校倫理』（第一学習社） ・プリント等
<b>後期</b>	第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

・古今東西の先哲の思想についてより深く学習するために、原典の日本語訳などを讀んだり、他の科目で学習したことを関連させてより深く考えたりすること。
--

# 令和8年度 政治・経済 シラバス

科目	政治・経済	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3部	4年次
目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。	選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、判断基準を根拠に構想する力や、議論し公正に判断する力をつける。	多面的・多角的な考察や深い理解を通し、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。
評価方法	定期考査・北高検定・小テスト等	定期考査、課題や授業プリント、授業中の取組等	授業中の取組等

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1部 現代日本の政治・経済  現代日本の政治 現代日本の経済 現代日本における諸課題の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業プリントを使用</li> <li>・ タブレットでの調べ学習</li> <li>・ 小テスト等</li> </ul>	『最新政治・経済』（実教出版） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プリント</li> <li>・ Googleのアプリ</li> <li>・ Microsoftのアプリ等</li> </ul>
後期	第2部 現代の国際政治・経済  現代の国際政治 現代の国際経済 国際社会における諸課題の探究		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世の中で起こる出来事について、新聞やニュース、インターネットを使って身近なものにしておくこと。また、授業内容と関連づけて考えることができること。</li> <li>・ 主体的に授業に参加し、疑問に思ったことをタブレット端末などを使い、調べようとする態度を持つこと。</li> <li>・ 授業で提示した教科書のグラフやコラム、ノートやプリント、タブレット端末を見返すなど復習を習慣づけること。</li> <li>・ 提出物にしっかりと取り組むこと。</li> </ul>
--

# 令和8年度 地域社会と防災 シラバス

科目	地域社会と防災①	単位数	1 単位
		対象 部・年次	1、2、3部 全年次

- 目標**
- ・災害発生の想定や過去の事例研究から、社会的な見方・考え方を養う。
  - ・「楽しく防災を学べる」企画活動を通して、情報を効果的に活用する力を身に付ける。

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	過去の被害と復興など、災害についての基礎的な知識と避難行動について理解する。防災グッズの工作や消火器等の扱いなど、災害発生時に活かせる技能を身に付ける。	過去の災害事例研究から、課題を発見し、自分たちが何をすべきか、後世にいかにつないでいくかを考え、発信する。「楽しく防災を学べる」企画や運営をする。	学んだ知識や身に付けた技能を活用・応用しようとする。積極的に課題や問題を発見し、その解決に取り組もうとする。自分の得た知識・技能を身の回りや地域に発信しようとする。
<b>評価方法</b>	授業プリントやレポート課題などから総合的に評価する。	授業プリント、レポート課題、授業中の発言等で総合的に評価する。	授業プリントやレポート課題、自己評価などから、総合的に判断する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	単元1 身近におこる災害 単元2 避難生活の課題	・授業プリントを使用 ・タブレットでの調べ学習 ・小テスト等	・プリント ・Googleのアプリ ・Microsoftのアプリ等
<b>後期</b>	単元3 「楽しい防災訓練」をデザインしよう 単元4 まとめレポート		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・災害や防災活動について、新聞やニュース、インターネットを使って身近なものにしておくこと。また、自分の身の回りと関連づけて考えることができること。
- ・主体的に授業に参加し、疑問に思ったことを調べようとする態度を持つこと。
- ・授業で提示した資料やプリントやメモ、タブレット端末を見返すなど復習を習慣づけること。